

IV 保 健 予 防 課

1 感染症対策

感染症法に基づく発生届を受理し、疫学調査を実施しました。
また、関係機関を集めて対策会議を開催しました。

2 結核予防対策

感染症法に基づき、結核患者及びその家族等に対する医療・保健指導を行うとともに、訪問や面接等により結核患者の服薬を支援しました。

また、患者家族や利用施設等での接触者に対し、QFT検査や胸部エックス線検査による健康診断を行い、結核の早期発見・まん延防止に努めました。

3 エイズ予防・性感染症予防対策

エイズ相談検査を実施するとともに、青少年を対象にエイズ・性感染症の正しい知識を普及するため講演会を実施し、パンフレットを配布するなど予防啓発事業を実施しました。

4 難病対策

難病患者への医療援護事務を行うとともに、難病患者地域支援ネットワーク事業として、相談会、つどい、訪問相談事業、在宅療養者支援計画策定・評価事業等を実施しました。

医療依存度の高い神経難病等患者と介護者の療養支援を目的とする在宅難病患者緊急一時入院の利用にあたって、申請受付を行うとともに療養相談を行いました。

また、地域の人材育成として、在宅難病患者保健福祉従事者等研修を実施しました。

5 肝疾患対策

ウイルス性肝炎の早期発見と二次感染予防のため検査を実施しました。

また、B型ウイルス性肝炎に対して行われるインターフェロン治療及び核酸アナログ製剤治療やC型ウイルス性肝炎の根治を目的としたインターフェロン治療及びインターフェロンフリー治療を実施する方に対する医療援護事務を行いました。

6 原爆被爆者援護

原爆被爆者及び被爆者のこどもを対象に、健康手帳等の交付及び健康診断を実施しました。

7 骨髄ドナー登録

白血病等の血液難病患者にとって有効な治療法である骨髄移植を推進するため登録受付を行いました。

8 認知症疾患対策

認知症疾患相談事業として、専門医・保健師等による相談・訪問指導を実施し、適正な診断・治療を受けるための指導、療養生活支援、家族に対する保健指導を行いました。特に若年性認知症の方については個別性が高いことから、継続した支援を行いました。

9 精神保健福祉対策

精神疾患の早期発見早期治療を図るため、専門医・福祉職・保健師による相談・訪問を行いました。また、関係機関や団体との連携を図るため、会議を開催するとともに関係団体への支援を実施しました。

その他、自殺防止対策として関係機関との連絡会議及びゲートキーパー養成講座を実施しました。

1 感染症対策

(1) 感染症発生状況

	発生件数	患者数	無症状病原体保有者数	接触者検便延数	備考
総数	28	22	6	12	
1類感染症					
2類感染症					
3類感染症	12	9	3	12	腸管出血性大腸菌感染症 12
4類感染症	6	6			レジオネラ症 6
5類感染症	10	7	3		アメーバ赤痢 1 カルバペネム耐性腸内細菌感染症 2 急性脳炎 2 梅毒 4 播種性クリプトコックス症 1

※2類感染症は結核を除く数

※5類感染症は全数把握のみ

(2) 通報等に伴う調査

	通報件数	調査者数	患者・保菌者数	行政検便延件数
総数	3	1	0	0
検疫所からの通報	2			
検疫情報(他県等から)	1	1		

(3) 集団かぜによる学級閉鎖・学年閉鎖状況

	平成26年度			平成27年度		
	施設数(実)	施設数(延)	欠席者数	施設数(実)	施設数(延)	欠席者数
総数	17	26	317	22	59	548
幼稚園				2	3	38
小学校	13	22	285	20	56	510
中学校	2	2	21			
高等学校	2	2	11			
特別支援学校						

(4) 感染症対策連絡会議

管内の関係機関と感染症情報を共有し、連携して感染症のまん延防止と迅速かつ適切な対応を行いました。また、地域全体の感染症対策の推進を図ることを目的に連絡会議を設置し、開催しました。

開催日	内容	参加者
H27. 6. 29	管内の感染症の状況 ① H26年度 感染症発生動向について ② レジオネラ症の報告 ③ MRSAの対応について ④ デング熱の対応について ⑤ エボラ出血熱の対応について 各所(機関)の取り組み、情報(意見)交換 等	12機関 23名 ・小田原医師会 ・小田原市立病院 ・市町消防本部 ・市町健康担当課 ・県健康危機管理課 ・当所

(5) 健康教育

開催日	対象	テーマ	講師	会場	参加者数
H27. 7. 22	訪問介護員	ヘルパー研修会 感染症の基礎知識と対応 その予防	当所 保健師	おだわら 総合医療 福祉会館	16名
H27. 7. 29					19名
H27. 10. 3	障害者施設利用者	感染症予防	当所 保健師	当該施設	12名
H27. 10. 22	介護保険事業所職員	感染症対策研修会 感染症の基礎知識と対策、 拡大防止について	当所 医師 保健師	小田原 合同庁舎	31名
H28. 3. 3	小田原地区 ビル管理協議会会員	ノロウイルスの対応について	当所 医師	小田原市 市民会館	30名

(6) 物品の貸出

正しい手洗いの普及啓発のため、手洗いチェッカーを貸し出しました。

事業所区分	介護老人福祉施設	グループホーム	通所介護
件数	2	1	1

2 結核予防対策

(1) 健康診断

ア 管理検診・接触者健診

	勧告者数	受診者数		受診率(%)	受診結果			
		保健所	医療機関		要医療	経過観察	観察不要	異常なし
管理検診		10					5	5
接触者健診	141	135	0	95.7	5	2		128

イ 平成27年度エックス線直接撮影検査実施状況

	平成27年度		前年度実績	
	対象者	撮影件数	対象者	撮影件数
管理検診	10	10	11	11
接触者健診	40	61	51	61
総計	50	71	62	72

ウ 平成27年度QFT検査・ツベルクリン反応検査実施状況

QFT検査	ツベルクリン反応検査
75	0

(2) 結核患者の状況

ア 登録患者数

(ア) 受療別・市町別登録患者数

(平成27年12月31日現在)

		総数	活動性結核				不活動性結核	活動性不明	潜在性結核感染症(別掲)
			肺結核活動性			肺外結核活動性			
			登録時喀痰塗抹陽性	登録時その他の結核菌陽性	登録時菌陰性その他				
総数		72	10	4	1	2	42	13	41
受療別	入院	5	5						
	在宅医療	12	5	4	1	2			9
	経過観察	54					42	12	32
	不明	1						1	
市町別	小田原市	48	9	2		2	28	7	30
	箱根町	4					3	1	
	真鶴町	3			1		2		1
	湯河原町	17	1	2			9	5	10

(イ) 年齢階級別登録患者数

(平成27年12月31日現在)

	総数	活動性結核				肺外結核活動性	不活動性結核	活動性不明	潜在性結核感染症(別掲)
		肺結核活動性			登録時菌陰性その他				
		登録時喀痰塗抹陽性	登録時その他の結核菌陽性	登録時菌陰性その他					
総数	72	10	4	1	2	42	13	41	
0～4歳	0							1	
5～9歳	0								
10～14歳	0								
15～19歳	1						1	1	
20～29歳	1		1					4	
30～39歳	6					3	3	7	
40～49歳	7		1		1	5		4	
50～59歳	13	1		1		10	1	5	
60～69歳	13	1				9	3	12	
70歳以上	31	8	2		1	15	5	7	

(ウ) 新登録患者数

(平成27年1月1日～12月31日)

	総数	活動性結核				肺外結核活動性	潜在性結核感染症(別掲)
		肺結核活動性			登録時菌陰性その他		
		登録時喀痰塗抹陽性	登録時その他の結核菌陽性	登録時菌陰性その他			
総数	24	12	9	1	2	19	
0～4歳	0					1	
5～9歳	0						
10～14歳	0						
15～19歳	0						
20～29歳	1		1			3	
30～39歳	0					4	
40～49歳	2		1		1	3	
50～59歳	4	2	1	1		3	
60～69歳	2	1	1			4	
70歳以上	15	9	5		1	1	

(エ) 結核患者登録率の推移 (人口10万対)

	神奈川県		管内	
	登録数	登録率	登録数	登録率
平成23年	4,275	47.2	76	30.9
平成24年	4,008	44.2	87	35.6
平成25年	3,692	40.7	88	36.2
平成26年	3,556	39.1	97	40.2
平成27年	3,426	37.5	72	30.2

(オ) 結核り患率の推移 (人口10万対)

	神奈川県		管内	
	新登録数	り患率	新登録数	り患率
平成23年	1,561	17.2	41	16.7
平成24年	1,395	15.4	41	16.8
平成25年	1,353	14.9	42	17.3
平成26年	1,329	14.6	42	17.4
平成27年	1,311	14.4	24	10.1

(カ) 結核有病率 (人口10万対)

	神奈川県		管内	
	活動性結核	有病率	活動性結核	有病率
平成23年	1,310	14.5	25	10.2
平成24年	1,022	11.3	27	11.0
平成25年	913	10.1	26	10.7
平成26年	937	10.3	33	13.7
平成27年	—	—	17	7.1

(キ) 結核患者家庭訪問指導状況

	実人数	延人数
平成23年	30	82
平成24年	36	130
平成25年	39	202
平成26年	47	206
平成27年	32	178

(ク) 保健所機能強化型DOTS強化事業 (実人数)

訪 問	面 接	電 話
9	19	2

(3) 感染症診査協議会結核部会
医療費公費負担診査件数

	総 数	37条申 請入院 勧 告	37 条 の 2 申 請 (一般患者)								
			小 計	被用者保険		国民健康保険			後期 高齢	生活 保護	その他
				本人	家族	一 般	退職者				
							本人	家族			
申請件数 (計)	105	50	55	19	2	16			16	1	1
医療内容合格	105	50	55	19	2	16			16	1	1
公費負担承認	105	50	55	19	2	16			16	1	1
公費負担不承認	0										

3 エイズ予防・性感染症予防対策

(1) エイズ相談・検査

ア エイズ相談・検査実施状況

エイズ相談は医師・保健師による随時相談、検査は月1回水曜日に匿名、予約制で実施しました。

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
相談件数	510	659	418	428	392	442	313	329	255
検査実施数	126	169	112	128	108	115	80	83	69

イ エイズ検査（性・年齢別）実施状況

	0～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	合計
総数	2	27	22	11	5	2	69
男	2	9	15	8	5	1	40
女	0	18	7	3	0	1	29

(2) エイズ予防啓発事業

実施日	内 容	会 場	参加者数
H27. 4. 17 H27. 9. 4	看護学生等へのパンフレットの配布	小田原合同庁舎	104
H27. 4. 23	がん検診普及啓発セミナーでの学生、教員への啓発グッズの配布	小田原高等看護専門学校	38
H27. 5. 19		国際医療福祉大学	56
H27. 6. 24		小田原女子短期大学	230
H27. 6. 29	HIV検査のリーフレット配布	産業保健研修会	12
H27. 8. 24	がん検診普及啓発セミナーでの学生、教員への啓発グッズの配布	小澤高等看護専門学校	24
H27. 10. 24	小田原高等学校定時制学園祭「梟森祭」でのコンドーム・啓発パンフレットの配布	小田原高等学校	180
H28. 2. 26	がん検診普及啓発セミナーでの学生、教員への啓発グッズの配布	積善会看護専門学校	75

(3) 青少年エイズ・性感染症予防講演会

性感染症の正しい知識と予防に関する普及啓発を行うため、高校生等を対象に講演会を行いました。

実施日	対 象	講 師	参加者数
H27. 6. 4	小田原高等学校定時制 1～4 年生	当所医師、保健師	92

4 難病対策

(1) 特定医療費（指定難病）医療受給者証交付件数

平成26年12月31日までは56種の難病に対して助成を実施しました。

平成26年5月23日に「難病の患者に対する医療等に関する法律」が成立し、平成27年1月1日より施行となりました。これにより306疾患が指定難病として指定されています。

※管内に患者がいる疾患のみ掲載

告示 番号	指定難病名	小田原市	箱根町	真鶴町	湯河原町	計	告示 番号	指定難病名	小田原市	箱根町	真鶴町	湯河原町	計
1	球脊髄性筋萎縮症	2	1	0	1	4	56	パーチエット病	26	4	1	7	38
2	筋萎縮性側索硬化症	18	1	0	3	22	57	特発性拡張型心筋症	33	0	2	1	36
3	脊髄性筋萎縮症	3	1	0	1	5	58	肥大型心筋症	3	0	0	1	4
5	進行性核上性麻痺	3	0	0	0	3	60	再生不良性貧血	13	0	1	1	15
6	パーキンソン病	163	12	7	31	213	63	特発性血小板減少性紫斑病	33	6	1	3	43
7	大脳皮質基底核変性症	8	1	2	0	11	65	原発性免疫不全症候群	2	0	0	0	2
11	重症筋無力症	23	1	2	4	30	66	IgA腎症	6	1	1	4	12
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	26	1	2	5	34	67	多発性嚢胞腎	5	1	1	2	9
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎 ／多巣性運動ニューロパチー	7	0	0	0	7	68	黄色靭帯骨化症	1	2	0	1	4
16	クローウ・深瀬症候群	2	0	0	0	2	69	後縦靭帯骨化症	57	4	1	9	71
17	多系統萎縮症	23	0	1	4	28	70	広範脊柱管狭窄症	1	0	0	2	3
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症 を除く)	39	4	2	7	52	71	特発性大腿骨頭壊死症	30	2	0	1	33
19	ライソゾーム病	4	1	0	0	5	72	下垂体性ADH分泌異常症	3	0	0	0	3
21	ミトコンドリア病	4	0	0	1	5	74	下垂体性PRL分泌亢進症	2	0	0	0	2
22	もやもや病	27	2	0	1	30	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌 亢進症	1	0	0	0	1
23	プリオン病	1	0	0	0	1	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢 進症	2	1	1	2	6
26	HTLV-1 関連脊髄症	1	0	0	0	1	78	下垂体前葉機能低下症	12	1	0	2	15
28	全身性アミロイドーシス	4	0	0	0	4	84	サルコイドーシス	9	0	2	1	12
34	神経線維腫症	4	0	0	1	5	85	特発性間質性肺炎	13	0	0	1	14
35	天疱瘡	9	1	1	2	13	86	肺動脈性肺高血圧症	7	0	0	2	9
37	膿疱性乾癬(汎発型)	2	0	0	0	2	88	慢性血栓性肺高血圧症	4	0	0	0	4
38	スティール・ジョンソン症 候群	1	0	0	0	1	90	網膜色素変性症	52	3	4	8	67
40	高安静脈炎	7	1	1	0	9	93	原発性胆汁性肝硬変	19	2	1	2	24
41	巨細胞性動脈炎	1	0	0	0	1	94	原発性硬化性胆管炎	1	0	0	0	1
42	結節性多発動脈炎	4	0	1	0	5	95	自己免疫性肝炎	5	0	1	0	6
43	顕微鏡的多発血管炎	13	2	4	2	21	96	クローン病	82	4	0	8	94
44	多発血管炎性肉芽腫症	4	0	0	0	4	97	潰瘍性大腸炎	279	18	6	37	340
46	悪性関節リウマチ	5	0	0	1	6	98	好酸球性消化管疾患	1	0	0	0	1
47	バージャー病	2	0	1	1	4	113	筋ジストロフィー	3	0	0	0	3
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	0	0	0	0	0	117	脊髄空洞症	1	0	0	0	1
49	全身性エリテマトーデス	101	4	5	8	118	127	前頭側頭葉変性症	0	0	0	1	1
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	40	2	0	2	44	168	エーラス・ダンロス症候群	1	0	0	0	1
51	全身性強皮症	45	1	1	9	56	222	一次性ネフローゼ症候群	2	0	1	1	4
52	混合性結合組織病	16	0	1	0	17	257	肝型糖原病	1	0	0	0	1
53	シェーグレン症候群	8	0	0	1	9	271	強直性脊椎炎	2	0	0	1	3
54	成人スチル病	1	0	0	0	1	283	後天性赤芽球病	1	0	0	0	1
55	再発性多発軟骨炎	0	0	0	1	1		総 数	1,334	85	55	184	1,658

(2) 難病患者地域支援ネットワーク事業

難病患者及びその家族を対象に、療養上の不安の解消を図るため、保健、医療及び福祉に関するつどい、相談指導等を実施するとともに、きめ細やかな支援の必要な難病患者に対し、関係機関との連携のもと適切な在宅療養支援を提供するための検討を行いました。

ア 在宅療養支援計画策定・評価事業

在宅療養支援計画策定・評価委員会

難病患者への保健福祉事業が円滑かつ効果的に行われるために、難病患者とその家族を取り巻く状況や課題等を把握検討し、管内の難病保健福祉ケアの向上を図る。

神経難病医療ネットワーク検討会として開催

開催日	内 容	出席者数
H27. 6. 9	<ul style="list-style-type: none"> 地域における難病患者の支援体制について アンケートの実施について 各所の取り組みについて 喀痰吸引等制度について 	36
H27. 11. 24	<ul style="list-style-type: none"> 地域における難病患者の支援体制について アンケート調査結果報告（患者・家族の実態調査） 事例紹介 	34
H28. 1. 26	<ul style="list-style-type: none"> 地域における難病患者の支援体制について アンケート調査結果報告（患者家族の実態調査、関係機関調査 訪問看護） 難病対策地域協議会について 	34

イ 難病相談会
相談会

開催日	テ ー マ	講 師	会 場	参加人数
H27. 12. 7	神経難病個別相談会	マナクリニック 副院長 須田南美氏	小田原保健福祉 事務所 健診室等	3

ウ 難病患者と家族のつどい(対象 全疾患)

開催日	内 容	担当者	会 場	参加人数
H27. 4. 21	健康相談、歌、体操、 交流会他	保健師、ボランティア	小田原保健福祉 事務所 集団活動室	15
H27. 5. 19				15
H27. 7. 21				16
H27. 11. 17				14
H28. 1. 19				10
H28. 3. 15				10

難病患者と家族のつどい (対象 パーキンソン病)

開催日	内 容	講 師	会 場	参加人数
H27. 9. 10	講話・実技指導「ミニリ ハビリ体操教室」	運動指導員 橘高 靖子氏	小田原保健福祉 事務所 集団活動室	24

エ 訪問相談事業

訪問相談員として保健師、看護師を雇用し、要支援難病患者宅を訪問し、患者・家族の療養上の悩みに対して相談指導を実施し療養を支援しました。

実施回数	訪問		面接		電話	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
31	11	14	11	11	20	20

オ 保健師による家庭訪問・所内指導

家庭訪問

	神経系	膠原病	消化器系	血液系	循環器系	総数
実人数	20	2				22
延人数	56	4				60

随時相談

面接	電話	その他	総数	主な相談内容(延べ)					
				申請	医療	看護	福祉	その他	計
675	389	3	1,067	695	173	285	296	16	1,465

(3) 難病特別対策推進事業

ア 在宅神経難病患者緊急一時入院(平成17年4月より開始)

2次医療圏に1床、県域で8床、管内は箱根病院、足柄上病院に1床ずつ確保されています。医療依存度の高い神経難病患者等の介護者のレスパイトや介護困難時の一時入院受け入れに伴う申請受付と療養相談をおこないました。

<利用者の状況> 利用回数 13件(実利用者数 8名)

利用者	利用月	疾患	医療機器	性別	理由	期間	受入病院
A	H27. 4 H27. 11	パーキンソン病	吸引気、胃ろう	男性	介護疲労	12日間 14日間	足柄上病院
B	H27. 4	脊髄性筋萎縮症	なし	男性	介護疲労	14日間	箱根病院
C	H27. 5	多系統萎縮症	吸引器、胃ろう	男性	介護疲労	5日間	足柄上病院
D	H27. 5 H27. 7	パーキンソン病	吸引器、胃ろう	男性	介護疲労	14日間 12日間	足柄上病院
E	H27. 6 H28. 1	結節性動脈周囲炎	吸引器、胃ろう	男性	介護疲労	7日間 12日間	足柄上病院
F	H27. 6 H28. 1	多系統萎縮症	吸引器、胃ろう	男性	介護疲労	13日間 14日間	箱根病院
G	H27. 8 H28. 2	多系統萎縮症	なし	女性	介護疲労	14日間 13日間	箱根病院
H	H27. 8	脊髄小脳変性症	なし	女性	介護疲労	12日間	箱根病院

イ 在宅難病患者保健福祉従事者等研修会

地域で難病患者に関わっている支援者（ケアマネジャー、介護ヘルパー、サービス提供責任者、訪問看護師、地域包括支援センター職員、行政保健師等）を対象に、個別事例や地域での支援課題をテーマにスキルアップを目的に実施しました。

実施日	テーマ	講師	会場	参加人数
H27.10.7	摂食・嚥下ケア研修	小田原市立病院 看護部 小澤 公人氏	小田原合同庁舎	27

5 肝疾患対策

(1) C型及びB型肝炎ウイルス検査

健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査や職場で肝炎ウイルス検査などを受検する機会のない40歳未満の方で、はじめて検査を受ける方を対象に実施しています。（H20.2からHBs抗体検査は中止）

	HCV抗体	HBs抗原
受診者数	1	2
陽性者数		
陰性者数	1	2

(2) 医療機関における無料での肝炎ウイルス検査

国が定める特定感染症検査等事業の緊急肝炎ウイルス検査事業として、平成20年4月から医療機関において無料にてB型及びC型肝炎ウイルス検査を実施しています。

検査内容	B型のみ	C型のみ	同時実施
受診券発行数			3

(3) 肝疾患重症化予防推進事業

「ウイルス性肝炎患者等の重症化予防推進事業実施要領」（国実施要領）に基づき、「陽性者フォローアップ事業」に同意した肝炎ウイルス陽性者に対して、初回精密検査費用や定期検査費用の助成を行います。早期治療につなげ、ウイルス性肝炎患者等の重症化予防を図ることを目的としています。

項目	件数
陽性者フォローアップ事業同意者数	0
肝炎精密検査費用助成申請数	0
定期検査費用助成申請数	0

(4) 肝炎治療医療費助成制度

平成20年4月からインターフェロン治療に対する医療費助成制度が開始され、B型肝炎の治療として平成22年4月から核酸アナログ製剤治療が助成の対象となりました。また、C型肝炎の治療として平成24年1月からインターフェロン及び内服薬による3剤併用療法が、更に平成26年9月からインターフェロンフリー治療が医療費助成の対象となっています。

区分		申請者数
インターフェロン治療		1
核酸アナログ製剤治療	新規	7
	更新	78
インターフェロンフリー治療		178
3剤併用療法		1

6 原爆被爆者援護

(1) 原爆被爆者健康管理事業

ア 被爆者健康手帳等交付状況

	H27.3月末現在 手帳保有者	新規交付
総 数	132	1
被 爆 者 健 康 手 帳	61	
第1種健康診断受診者証		
第2種健康診断受診者証		
被爆者のこども受診者証	71	1

イ 被爆者健康診断実施状況

		受診者				要精検者	要治療
		総 数	被爆者	第2種	被爆者の 子ども		
平成26年度		8	5	0	3	2	0
平成27年度	総 数	14	10	0	4	4	0
	第1回 5月	5	4	0	1	1	0
	第2回 11月	9	6	0	3	3	0

7 骨髄ドナー登録

白血病、重症再生不良性貧血等の患者にとって有効な治療法である骨髄移植を推進するため、骨髄移植推進財団を中心に骨髄バンク事業が実施されていますが、平成7年度から骨髄提供希望者のより一層の確保を図るため、県域では、小田原保健福祉事務所、厚木保健福祉事務所大和センターの2か所が登録受付業務を実施しています。

(1) 小田原保健福祉事務所登録受付の状況

	25年度	26年度	27年度
総数	2	0	0
男			
女	2		

(2) 骨髄バンクの状況

	全 国	神奈川県
提供希望者（ドナー）登録者数	458,352	19,776
移植希望者登録者数	3,242	78
骨髄移植例数（累計）	19,297	1,078

※骨髄移植推進財団日本骨髄バンク 骨髄バンクデータ集資料より 平成28年3月31日現在

8 認知症疾患対策

(1) 認知症相談事業

ア 随時相談

若年性認知症や独居、高齢者虐待など処遇困難な事例が増えており、市町や地域包括支援センターからの相談が増えています。

相談 件数 (実数)	相談 件数 (延数)	相談の方法			相 談 内 容 (延数)							
		電 話	面 接	その他	疾 病 一 般	問 題 行 動	治 療 関 係	看 護 介 護	入 院 入 所	介 護 保 険 サ ー ビ ス	その他	
56	182	164	18		34	93	27	40	35	14	106	

イ 定例相談

認知症が疑われるが受診に結びつかない対象者に対し、健康相談として精神科医と訪問ができる貴重な場面にもなっています。

相談 件数 (実数)	相談 件数 (延数)	相談の方法 (延数)			相 談 内 容 (延数)							
		訪 問	面 接	その他	疾 病 一 般	問 題 行 動	治 療 関 係	看 護 介 護	入 院 入 所	介 護 保 険 サ ー ビ ス	その他	
15	15	13	2	1	10	15	4	2			3	

(2) 家庭訪問指導事業実施状況

	訪 問 数						年 齢 別 (実数)					
	男		女		総数		60歳 未 満	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	総数
	実数	延数	実数	延数	実数	延数						
件数	3	5	5	10	8	15	2	2	3	1	0	8

(3) 処遇困難事例検討事業

一般住民や、地域で認知症患者に関わっている支援者を対象に、研修会・シンポジウムを開催しました。

開催日	内容	講師	会場	対象	参加者
H28. 2. 19	「高齢者・認知症」について考えよう 認知症についての講演・寸劇、 コグニサイズ、体験講座	保健師	真鶴中学校	真鶴中学校 3年生	65
H28. 3. 18	若年性認知症シンポジウム ～あなたの温かさが 「居場所」です～	コーディネーター ・ひまわりメンタルクリニック 小林博子医師 シンポジスト ・国際医療福祉大学 吉村恵美子教授 ・ODAWARA若年認知症サポート プロジェクト代表・しきさい館 峯尾生恵氏 ・グループホーム ローズハウス 管理者 川上清嗣氏 ・当事者、家族	小田原合同 庁舎	一般住民、 患者家族、 支援者、企 業、関係者 等	75

(4) 徘徊SOSネットワーク事業

徘徊する方の安全を守るため徘徊SOSネットワークとして、市町が事前登録、検索保護の窓口を担当し、当事務所では広域検索について市町、県庁との連絡調整を担当しています。なお、職員に対し伝言板を活用し検索依頼を行いました。

ア 市町別徘徊SOSネットワーク事前登録状況

事前登録数 (今年度新規登録)	小田原市	箱根町	真鶴町	湯河原町
89(33)	81	2	2	4

イ ネットワーク実施状況

検索依頼件数	発見者数	保護件数	身元判明件数	他地域からの 広域検索依頼件数
3	2			88

ウ 徘徊SOSネットワーク担当者連絡会

平成12年に立ち上げたネットワークシステムを見直し、平成26年4月から防災主管課も組み入れたネットワークに変更しました。

開催日	内容	出席者
H28. 2. 17	・徘徊SOSネットワークの現状と課題について ・徘徊SOSネットワークシステムを利用した事例について ・平成28年度の取り組みについて	14

(5) その他

ア 認知症患者家族交流会

認知症の方を介護する家族、認知症サポーターや介護ボランティア、関係職員を対象に、ピアカウンセリングの場として小田原市と共催で実施しました。

開催日	内 容	参加者数	開催日	内 容	参加者数
H27. 4. 17	交流会	14	H27. 10. 16	交流会	11
H27. 5. 15		12	H27. 11. 20		11
H27. 6. 19		18	H27. 12. 18	クリスマス会	11
H27. 7. 13	医師を囲んで交流会 講師 ひまわりメンタルクリニック 院長 小林博子 氏	24	H28. 1. 15	交流会	11
H27. 8. 21	交流会	8	H28. 2. 19		12
H27. 9. 18		13	H28. 3. 18		9

9 精神保健福祉対策

地域における精神保健及び精神障害者の福祉のニーズは年々高まっていますが、当所では精神疾患の早期発見、早期治療、再発防止に努めるとともに、精神障害者の社会復帰のための援助を行いました。また、メンタルヘルスの推進を目的に普及啓発活動を行いました。

(1) 精神保健福祉相談・訪問指導

ア 把握区分

	実人数	延人数
相 談	196(136)	805
訪問指導	53(7)	153

※ () 内は、保健所把握新ケース (内数)

イ 相談性別・年齢

	性 別			年 齢								
	男	女	不明	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70以上	不明
実人数	106	89	1		11	18	24	35	37	25	25	21
延人数	382	422	1		15	66	132	221	245	52	49	25

ウ 訪問指導性別・年齢

	性 別			年 齢								
	男	女	不明	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70以上	不明
実人数	27	26			2	3	5	15	12	7	8	1
延人数	90	63			4	27	10	26	49	25	11	1

エ 相談・訪問契機

	実人数	市町村	医療機関	家族	本人	その他
相談	196	22	10	70	49	45
訪問	53	9	3	12	10	19

オ 相談種別

	実人数	治療の問題	生活上の問題	社会参加の問題	心の健康問題	その他
相談	196	173	489	16	31	96
訪問指導	53	72	57	9	5	10

カ 診断名

	実人数	統合失調症	気分(感情)障害	てんかん	器質性精神障害	中毒性精神障害		神経症	その他の精神障害	診断保留	精神障害と認めず	その他
						アルコール	覚せい剤・他					
相談	196	45	24	1	3	15	1	8	6	1	5	87
訪問指導	53	23	3	1	0	6	1	1	2	2	3	11

キ 相談者

	総数	本人	家族	医療機関	市町村	その他
相談	837	566	162	19	22	68
訪問指導	248	136	77	7	8	20

ク 担当者別相談回数

	総数	医師	福祉職	保健師	その他
相談	844	40	756	34	14
訪問指導	192	24	153	5	10

(2) 教育広報活動

ア 精神保健福祉講演会
実施なし

(3) 自殺対策事業

管内関係機関職員(管内一市三町の自殺対策担当者、救急隊、医療機関、警察等)を対象に自殺の実態について共通認識を図るために担当者会議と自殺防止のための人材を養成するため研修会を開催しました。

ア 会議

実施日	内 容	対 象	参加者数
H28. 10. 28	(1) 県及び精神保健福祉センターからの情報提供 (2) 各機関における自殺対策の取組み実績および今後の取組み 他	行政及び関係機関職員	15

イ 研修会

実施日	内 容	講 師	対 象	参加者数
H28. 10. 28	自殺未遂者の特性の理解と対応について	東海大学病院 市川篤氏	行政及び関係機関職員	34

(4) 組織育成活動

精神保健福祉関係団体への支援

	援 助 内 容	援助回数
精 神 障 害 者 家 族 会	総会	1
断 酒 会 、 A A	酒害相談研修会に出席、会場手続き等	1
地域活動支援センターⅢ型支援	総会・地域ネットワーク会議参加	3

(5) 社会復帰の援助

ア 精神障害者(主に統合失調症)の家族教室
実施なし

(6) 医療保護関係事務

ア 精神保健診察

精神保健福祉法に基づく一般からの申請(法22条)・警察官通報(法23条)に対し、精神保健福祉センター兼務職員として調査等を行いました。

	件 数	指 定 医 療 診 察 結 果				病院紹介	診察立会い (内数)	不実施
		要措置	不 要 措 置					
			入 院	入院外	医療不要			
22条	0							
23条	8	3	2				3	

イ 精神科病院実地指導・実地審査(法38条の6)

(ア) 精神保健福祉法に基づく精神科病院に対する実地指導

精神科病院におけるより良い医療の提供と適正な管理運営に資するため、管内2病院に対し実地に実態を把握し、必要な指導を行いました。

(イ) 精神保健福祉法に基づく実地審査(措置入院者等に対する精神保健指定医の診察)

施設数	審査結果					
	措置入院			医療保護入院		
	継続	移行	入院不要	継続	移行	入院不要
2	1			12		

ウ その他の医療保護事務

	延件数
入院届	729
退院届	514
定期病状報告	203

(7) 会議

保健福祉事務所管内における関係機関・団体等の連携により行われる各種保健・福祉サービスの効果的かつ円滑な推進を図るため関係機関で構成する会議を開催しました。

地域精神保健福祉連絡協議会

開催日	構成員	内 容	出席者数
H28. 3. 16	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科医療機関 ・社会復帰関係機関 ・家族会 ・相談支援事業者 ・市町担当課 ・市町社会福祉協議会 ・精神保健福祉センター ・保健福祉事務所 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度の主な取り組みと今後の予定について ・精神障害者の居住支援について ・その他 	19